

京丹後市都市拠点等の在り方検討会議 会議録

- 1 会議名 令和4年度第3回京丹後市都市拠点等の在り方検討会議
- 2 開催日時 令和4年12月16日(金) 午後1時30分～午後4時00分
- 3 開催場所 京丹後市役所2階 205会議室
- 4 出席者氏名
 - (1) 委員
大庭哲治、藤井美枝子、山崎高雄、大西啓代、嶋田健一郎、水田朋子、田中智子、水嶋式行、味田佳子、堀井眞、今井みどり
 - (2) 若者ワークショップ
有限責任事業組合まちの人事企画室 1人
若者ワークショップ 3人
 - (3) 事務局
市長公室長 川口誠彦
政策企画課 課長 松本晃治
都市・地域拠点整備推進室 室長 井上浩一、同室 楊川優太
建設部長 安田悦雄
建設部都市計画・建築住宅課 課長 中川正明、同課 係長 中村正人
- 5 内容
都市拠点等の在り方に係る若者ワークショップの提案発表及び市の課題等について
- 6 公開又は非公開の別 公開
- 7 傍聴者 なし
- 8 議題
 - (1) 若者ワークショップからの提案発表
 - (2) 都市拠点等の在り方の構想について

(開会)

委員長 前回の会議では、若者から三つのテーマ「都市拠点の目標・基本方針」
挨拶 「都市拠点に求められる機能」「公共交通網（ネットワーク構造）」に沿った提案がされました。また、その後の若者と委員との共同ワークショップでは提案内容について議論等が行われました。

本日は、前回の議論等を踏まえて、若者ワークショップから三つのテーマの提案内容を統合した統合案の発表が行われます。また、事務局からは改めて都市拠点等の在り方に関係する市の課題についても説明がされます。委員の皆様には、今年度、最終とりまとめる都市拠点等の基本構想に向けた議論を行っていただきます。

(若者ワークショップから資料に基づき提案発表)

(1) 若者ワークショップからの提案発表 … 資料1

コンセプト

【My Home Tango】

- ・全世代が集まれる場所
- ・京丹後市に住んでいる人の幸福度を上げる

必要な機能

- ・公園機能「憩いの場」(広い芝生があり自由に過ごせる)
- ・人が集まる機能「ココタン」(用途に応じた使い方ができる)
- ・スポーツを楽しめる機能「複合施設」(体育館、ジム、スポーツ用品店などが集約)
- ・交通結節機能「シン・エキ」(公共交通や様々なモビリティが集まる)
- ・まち歩き機能「歩行者天国エリア」(歩きながら人やお店に出会える)
- ・観光休憩機能「休憩場所」(京丹後市らしさを知れる)

まとめ

【My Home Tango】から、
丹後の魅力を知り、人のつながりが生まれていく

まちをつくっていくという感覚が育まれれば
「帰ってきたい、住み続けたい、関わり続けたい」
という人が増えていくだろう

「自分たちの未来を、自分たちでつくれること」
これが一つの幸せの形であり、
まちが選ばれる理由になるのではないか

(質疑応答及び意見)

委員 シン・エキの考え方は非常に進んだ考えで良いと思います。提案内容には電動キックボードといった安全面や法令的な位置付けが現在されていないものも挙げられており、その辺りをどのように考えていますか。

若者 安全面、法律面において、課題があることは認識しています。10年後、20年後にこの都市拠点ができたときを想定して、若者の中で検討した結果、将来には空中ドローンや空中タクシーといった現在開発中のいろいろ

ろな新しいモビリティの選択肢があり、電動キックボードもその一つの選択肢ということで提案に盛り込んでいるとご理解ください。

委員 歩行者天国エリアの提案では、小売店が集まっているイメージです。20年後の京丹後市を考えると人口、特に若者の減少が進むと思われます。人口が少なければ小売店の出店を考える事業者も少ないと思いますが、そのような状況でそこに出店されるのかについてどの様に考えていますか。

若者 人口が減って経済規模が縮小していくことは、京丹後市に限らず全国的なものだと思っており、工夫が必要と考えています。例えば、歩行者天国エリアでは事業者が安い家賃で出店しやすいきっかけをつくったり、また、増加する空家を事業者が活用するために改装といった初期費用は国や行政の方で補助することにより、そのエリアでは安い費用で出店ができ、かつ事業者が求める空間づくりができるような形になれば考えています。

京丹後にも個性的で面白い方が沢山おられますので、最初にそのような方が集まって出店していただき、こだわりのある店舗が増えていくことでエリアの魅力が増し、このエリアに出店することが一つの価値となり、都会からもいろんな方たちに出店していただける流れができるのではないかと考えます。

委員 六つの必要機能の提案では、スポーツを楽しめる機能と観光休憩機能について具体的な説明がなかった。提案があれば説明ください。

若者 京丹後市にも体育館やジム、プールといった施設は点在していますが、スポーツを楽しめる機能として、それらを1カ所に集めた複合的な施設とすることで、子供から高齢のスポーツ好きな方が集まる目的地となり、新たな交流が生まれるのではないかと考えます。また、競技の場の少ないマイナースポーツの公式な競技施設をつくることで、遠方からの利用者やその競技団体からの利用も見込めるのではないかと考えます。

観光休憩機能としては、実際に高速道路が延伸され、その降り口に近いエリアに道の駅のようにトイレ休憩や、食事、お土産が買える場所を想定しています。イメージとして、高速道路を降りて休憩で立ち寄ってみると奥に広い公園が広がっており、地元の方が出店するブースがあり、観光客の方も自然に地元の人たちと触れ合えたり、地元の方の企画に参加できる空間がくれたらいいなと考えました。観光をきっかけに来た人がそこに暮らしてみたい、こんな暮らし方があるんだという接点づくりとして、高速道路の降り口に休憩所があり、地域の人たちが魅力的に暮らしている様子が自然と目に入るような場所を想定しました。どうすれば若者が増えるのかといったところで、都会の人が想う一般的な田舎の暮らし

ではなく、この地域では子育てがしやすいとか、多世代の交流があり面白そうとか、新しい事業が生まれているといったイメージが持てるエリアになればいいなという想いで、このエリアに観光休憩機能を併設することを考えました。

委員長 単に若者が若者のための京丹後を考えたのではなく、京丹後の全世代も含めて京丹後の将来をどのように描いたらよいか、非常に細かいところまで配慮した検討がされており、とても魅力的な内容だと思います。

高速道路を降りたときに、近未来の都市が待っているのではなくて、京丹後のありのままのよさ、魅力というものを伝え、それを見てもらうような空間をつくるということは非常に興味深いですし、一つの京丹後のあり方だと思います。まさに幸福度を上げる、幸福であることを知ってもらうという意味では大事だと考えます。

また、いろいろな方がその場、その時の状況に応じて必要なモビリティを選択して移動できるという考えは大事だと思いますし、シン・エキの考えは非常に良いアイデアだと思いますので、そういった機能、考え方は都市拠点のあり方に取り入れたいと考えています。

若者 こういう機会をいただいたことで、都会に出た京丹後出身の大学生や、実際に高校に通っている皆さんと具体的に将来のまち、自分たちのまちのことを考えるきっかけになりました

委員長 若者ワークショップからの提案内容、意見等を踏まえ、都市拠点構想の検討を進めていきたいと思います。

若者ワークショップの皆様には、長期間にわたり、未来の都市拠点についての活発な議論及び提案発表いただき、ありがとうございました。

(事務局から資料に基づき説明)

(2) 都市拠点等の在り方の構想について … 資料2

(質疑応答及び意見)

委員 今からの特に若い世代はメタバースといった仮想空間的なものを取り入れた社会になっていくと思います。実際に観光などを考えたときに、仮想空間の世界といろいろと融合できると考えますので、そういったことも盛り込めないかと感じます。

委員長 都市施設なども仮想空間内に再現され、事前にそこでの予習体験や、事後に余韻に浸るために仮想空間で追体験するなど様々な使い方があるとされており、今後の活用可能性が考えられます。地域の発展、地域活性

化にどのように活かしていくのか検討課題が多く具体化が難しく、現時点では、そういうこともあるという認識にとどまっている段階です。

委員 このエリアに住むという機能の要素はいかがか。

委員長 資料2の2ページ(2)の都市拠点の説明において、居住、商業、芸術文化、娯楽、交流場度などと記述されていますので、当然居住も含めた形で都市拠点のあり方を検討していくという考えです。

委員 若者から、まち歩き機能を提案されました。隣り合った店舗であっても荷物の都合で駐車場から駐車場へ車で移動することが多いため、よほど店舗が密集していないと歩いて買い物はしないのではないか。

また、市の検討しているデジタル図書館の内容を踏まえて、都市拠点に整備される図書館の検討が必要と思います。

事務局 まち歩き機能については、都市計画マスタープランの中で、歩いて暮らせるまちと謳っておりますので、今後検討していきたいと考えます。

デジタル図書館については、先ほどメタバースの話も出ておりましたので、関連する会議体とも議論されている内容等を整理させていただきたいと考えています。

委員長 高速道路の有料化の話は聞きましたが、何か影響を受けることがありますか。

事務局 京都縦貫自動車道の宮津天橋立から京丹後大宮までの無料区間について、今後、有料化されると聞いております。現在、宮津の子育て支援施設が併設されている商業施設に行かれている方々が、やはり有料区間を利用して行くより、この都市拠点エリアに子育て支援施設があった方がよいのではないかとといった議論に影響してくるのではないかと考えます。

また、高速道路にはサービスエリアといった施設があり、本線上にサービスエリアをつくるのか、または、京丹後市は観光立市を目指していることから、高速道路の降り口である都市拠点エリアに観光施設として道の駅のような施設が必要とされるのかといったことも含めて、今後、観光機能を議論していく中で検討を進めていきたいと考えています。

委員 最終まとめとして、資料2の4ページの黄色の着色された都市拠点のエリアに必要とされる機能を検討していくということで良いか。

事務局 このエリアに、求められる役割や必要となる機能を検討するものです。構想を読んだ方が、このエリアに何ができるのかイメージできるものになりたいと考えています。

委員 若者から多くの提案を受けているが、すべてを実現することは難しいため、何が優先されるべきか優先順位をある程度明確にした方がよいのではないか。今後、京丹後市が何を強みとしていくのか方向性が決まらなると議論が難しいのではないか。

事務局　　今の段階で優先順位を明確にすることは考えていません。あくまでも都市拠点のあり方の検討であり、構想の段階では大きな括りとして必要な機能を検討していただきたいと考えています。

委員　　若者から提案された機能や施設を考えたとき、すでにこのエリアには建物等が存在していて利用可能な土地はそんなに広くはないと思います。特に若者から提案を受けた「ココタン」や「観光休憩」の機能は、インター線計画位置付近でイメージされていると思う。しんざん小学校隣接エリアには昨年度に議論して図書館や子育て支援センターといった公共施設が構想されており、また民間の建物も存在しているため土地の広さからみても配置が難しいのではないかと考える。インター線計画位置を挟んだ反対側のエリアなどの用地取得も考えるべきではないか。

事務局　　若者からの提案は、若者の中で配置場所を明確にイメージされて考えられたものだと思います。提案を受けた内容は、都市拠点エリアのどこかに必要な機能として受け取っています。

また、しんざん小学校隣接の検討エリアには、民間の建物が存在しています。資料2の5ページ(2)エリアの区域でも「施設整備にあたり住宅等の既存建物や地域振興に極力影響ない場所を敷地特定していく。」としていますので、赤枠で囲った土地のすべてを施設用地とするわけではなく、この中から必要となる敷地を特定していくという考えです。そのため、提案を受けた機能や施設をどこに配置するのか、どのような規模とするのかは、今後、実際の計画を検討する場で議論されるものと考えています。

なお、インター線計画位置の右側にある色付けされていない地域についても、今後、都市拠点に必要な機能を考えたときの候補地となる可能性を否定するものではないと考えています。

委員　　商業を集積させていくといった機能について、あまり議論がなかったと思います。その辺りはどう考えていますか。

事務局　　商業集積について、都市計画マスタープランで謳われています。この検討会議の場では議論されていませんが必要な機能だと考えています。

委員長　　資料2の2ページの都市拠点の説明に商業のことも記述されていますので、当然、商業のことも合わせて考える必要があると思います。どのような形で集積していくのか、どのような配置にしていくのかは、今後、具体化する中で検討されていくものと考えます。

委員長　　委員皆様のご意向として、事務局には、若者から提案いただいた内容をベースにして、これまで検討会議で議論いただいた内容を可能な限り反映した形で構想の最終とりまとめをして、次回第4回の検討会議において提示をお願いします。

(閉会)

副委員長

本日は、若者たちから大変素晴らしい統合案が発表されたと思います。

挨拶

また、都市拠点等のあり方の構想に関する議題では、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただいたと感じております。

次回は、本日、委員の皆様にご議論いただきました都市拠点に必要な内容や取りまとめの観点などを踏まえ、未来の都市拠点をどのように展望していくか、基本構想が提示されることを願います。